

# せかいのおきく

くろきはる かんいちろう いけまつそうすけ まきくろうじ さとうこういち いしばしれんじ  
まぐはら かんく さかもとじゅんじ きかく・プロデューサー はらだみつお



せかいってなんですか おとっさま

# せかいのおきく

おれは  
せかいごころばん  
およえがすんだ



黒木華 寛一郎 池松壮亮 眞木蔵人 佐藤浩市 石橋蓮司  
脚本・監督 阪本順治 企画・プロデューサー 原田満生

第52回ロッテルダム国際映画祭  
OFFICIAL SELECTION  
ビッグスクリーン  
コンペティション部門出品

『せかいのおきく』には、今までの時代劇にはない全てがある。

—クリスティーナ・アシェンブレネロヴァ (ロッテルダム国際映画祭プログラマー)

【ものがたり】

22歳のおきくは、武家育ちでありながら今は貧乏長屋で父と二人暮らし。毎朝、便所の肥やしを汲んで狭い路地を駆ける中次のことをずっと知っている。ある時、喉を切られて声を失ったおきくは、それでも子供に文字を教える決意をする。雪の降りそうな寒い朝。やっとの思いで中次の家にとどり着いたおきくは、身振り手振りで、精一杯に気持ちを伝えるのだった。

幕末、江戸の片隅。おきくや長屋の住人たちは、貧しいながらも生き生きと日々の暮らしを営む。そんな彼らの糞尿を売り買いする中次と矢亮もまた、くさい汚いと罵られながら、いつか読み書きを覚えて世の中を変えてみたいと、希望を捨てない。お金もモノもないけれど、人と繋がることをおそれずに、前を向いて生きていく。そう、この「せかい」には果てなどないのだ—。



【ご紹介】

つらく厳しい現実にくじけそうになりながら、それでも心を通わせることを諦めない若者たちを描く『せかいのおきく』。日々を生きる喜びと輝きを感じ、人と人のぬくもりに包まれる、90分のおいしい青春映画が誕生しました。ヒロインのおきくは、ある悲惨なできごとに巻き込まれて声を失います。演じるのはベルリン国際映画祭や三度の日本アカデミー賞に輝く名女優、黒木華。そのセリフの無い名演をぜひご覧ください。他にも日本映画を代表する名俳優たちが集まりました。

脚本と監督は数々の名作を作ってきた阪本順治。貧しくもたくましく生きる長屋の住人たちをみずみずしく描く、阪本監督の最高傑作です。また、映画のテーマについて企画・プロデューサーの原田満生はこう語ります。「江戸時代は資源に限られていたからこそ、使えるものは何でも使い切り、土に戻そうという文化が浸透していました。人間も死んだら土に戻って自然に帰り、自然の肥料になる。人生の物語もまた、肥料となる。自然も人も死んで活かされ、生きる。この映画に込めた想いが、観た人たちの肥料になることを願っています」

本作は、気鋭の日本映画製作チームと世界の自然科学研究者が協力して、様々な時代の「良い日」に生きる人々を描き「映画」で伝えていくYOIHI PROJECTの第一弾作品です。

黒木華 寛一郎 池松壮亮 眞木蔵人 佐藤浩市 石橋蓮司 脚本・監督：阪本順治

製作：近藤純代 企画・プロデューサー：原田満生 音楽：安川午朗 音楽プロデューサー：津島玄一  
撮影：笠松則通 照明：杉本崇 録音：志満順一 美術：原田満生 美術プロデューサー：堀明元紀 装飾：極並浩史 小道具：井上充  
編集：早野亮 VFX：西尾健太郎 衣装：大塚満 床山・メイク：山下みどり 結髪：松浦真理  
マリン統括ディレクター：中村勝 助監督：小野寺昭洋 ラインプロデューサー：松田憲一良 バイオエコノミー監修：藤島義之 五十嵐圭日子  
製作：FANTASIA Inc. / YOIHI PROJECT 制作プロダクション：ACCA 配給：東京テアトル / U-NEXT / リトルモア © 2023 FANTASIA

●漫画家・こうの史代さん(『この世界の片隅に』)に特別ビジュアルを描き下ろして頂きました。

4月28日(金)GW全国公開

特製はがきセット付き 前売り鑑賞券(ムビチケカード) 2/24(金)発売  
※一部劇場を除く ※数量限定 ※詳細は公式ホームページをご覧ください。

おきく、22歳。声を失ったけれど、恋をした。

彼に伝えたい言葉がある。だから今日、どこまでも歩いて会いに行く。



「青春だなあ」

中次 (寛一郎)  
元・紙屑買い。矢亮と出会い下肥買いになる。

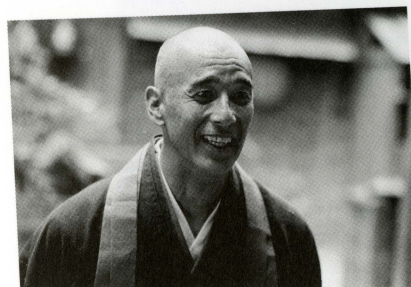


「ここ笑うとこだぜ、中次」

矢亮 (池松壮亮)  
江戸で糞尿を買い肥料として農村に売る下肥買い。

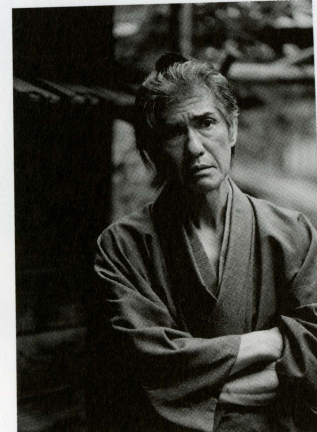
「明け六つになると、おとっさまは、なぜ、尻をたれるのですか」

松村きく (黒木華)  
通称おきく。寺子屋で読み書きを教える。  
ある事件で声を失う。



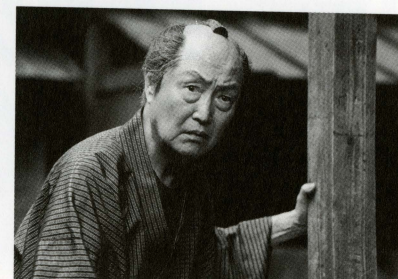
「役割って字は、役を割ると書きますでしょ」

孝順 (眞木蔵人)  
おきくが文字を教える寺の住職。



「なあ、「せかい」ってことば、知ってるか」

松村源兵衛 (佐藤浩市)  
おきくの父。元勘定方。昔の因縁で命を狙われる。



「地べたの下で死人は、虫に食われながら土に還るんだよ」

孫七 (石橋蓮司)  
おきくと同じ木挽町の長屋に住む元早桶屋。